

富山県教員養成課程等検討会報告書の概要

◆教員養成を取り巻く現状と課題

- ・学校教育課題の一層の複雑化・多様化
学力向上、規範意識の醸成、地域との連携
保護者の要望・苦情等への対応等
- ・大量退職・大量採用時代の到来
今後10年間に教員全体の3分の1が退職
- ・国の教員養成の修士レベル化の検討
実践的指導力の向上の要請への対応

◆本県の学校現場が若手教員に求める資質・能力

(H23.12 本県全小・中学校を対象に実施したアンケート結果より)

若手教員は

指導技術（発問・板書等）、学級経営能力、教材研究・教材解釈
児童生徒への愛情、豊かな人間性

管理職等は

児童生徒への愛情、熱意、学級経営能力、指導技術（発問・板書等）
使命感、豊かな人間性、教材研究・教材解釈

◎大学の教員養成課程改善の視点

1 カリキュラムの編成

専門教育、教養教育、生徒指導や特別支援教育、幼・保・小の連携、家庭・地域との連携等の今日的教育課題に関する講座等の在り方

2 教育実習の改善・充実

大学による事前・事後指導、実習期間中の指導、学校との連携の在り方や実習の評価項目・評価基準の再調整

3 実践的指導力やコミュニケーション等の向上を図るカリキュラムの開発

実践的な教科の指導方法や生徒指導、コミュニケーション能力育成、大学の授業形態改善、学校体験機会の充実

4 教員を志望する学生が教員免許を取得しやすい環境の整備

各学部・学科の連携・協力によるカリキュラム調整

5 教員養成の高度化・実質化を図るための大学と学校・教育委員会の連携

県内各大学等との連携も含めた協力体制の構築

富山型教員養成プログラム

= 基本的な考え方 =

- ・大学4年間を見通した総合的・体系的プログラム
- ・教員養成課程の各段階での大学の授業と学校現場との往還的な学習
- ・大学と学校・教育委員会等との連携による、より実践的な指導力の育成

<プログラムの内容>

学部1年次

学部4年次

教師の在り方について学ぶ学校現場での指導体験

例
学びのアシスト
ステディメイトユニバ
等

地域の素材を活用して授業づくりの基礎的な力を育む特別講座

例
とやま学 等

授業実践力を身に付ける学校現場での指導体験

例
観察実験アシスタント
等

教職への情熱を高め総合的な実践的指導力を育む教育実習

例
評価項目・評価基準の
再調整
等

教員採用内定者を対象とした教師準備期プログラム

例
教員の実務を学ぶ特別講座
等

「教職に関する科目」「教科に関する科目」等の授業

理論と実践の融合を図る往還的な学習